

「コゲラは森の大工さん」

葉山町青少年指導員連絡協議会 角田 衛

トントントントン、トントントントン精が出ますね…
今日もまた家造りですか？

「そうなんです。後少しでできるんですけどね。この木はちょっと堅くてなかなか掘れないんですよ。私のクチバシこんなふうにノミにもなるんですよ。便利でしょう。」

今日は風が弱いのでコゲラさんの家造りの乾いた音が森に良く響いています。実はこのコゲラは葉山の山や雑木林を散歩していると良く見かける鳥なんです。ギーッ、ギーッと鳴きながら山や雑木林を飛びまわり、枯れ木や枯れ枝に垂直にとまり、クチバシで木をつつき昆虫等の餌をとります。

秋から冬にかけてエナガやシジュウカラの群れに入ることもあり木の実を食べることもあるようです。

早春、コゲラはその大工さんのノミのような鋭いクチバシを使って枯れ木に丸い巣穴をほりますが、その巣穴を掘る音だったり、餌をとったりする音だったんですね。

アッ、木の上からまた、聞こえてきましたよ。
トントントントン、トントントントン
コゲラは森の大工さんですね……



葉山に吹く『学びの風』

～葉山町教育総合プラン～

地域の開かれた学校イメージをもとに様々な用途に対応できる学校を計画していく上から、大人だけの考えのみならず子供たちが考えられる学校環境イメージを抽出することにより、身近な視点からつくられる学校のあり方を見出すことができました。

昨年(金)の両日において、葉山中学校・葉山小学校の生徒・児童の皆さんに参加をいただき、『身近な視点からつくられる学校』をテーマとし、横浜国大工学部大学院生の協力を得てワークショップを開催いたしました。

第三部会ワークショップ開催

昨年の十二月二十五日(木)・二十六日(金)の両日において、葉山中

学校・葉山小学校の生徒・児童の皆さんに参加をいただき、『身近

な視点からつくられる学校』を

テーマとし、横浜国大工学部大

院生の協力を得てワークショップ

を開催いたしました。